

# Labo News

## らぼニュース

発 行 所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17  
花車ビル南館 〒450-0002  
電 話 052-581-1013  
F A X 052-586-5680  
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>  
Eメール [aamt@aichi-amt.or.jp](mailto:aamt@aichi-amt.or.jp)  
取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店  
普通口座731-677  
発 行 人 中 根 生 弥  
編 集 人 武 山 純 也

## No.437 目次

- ◆第18回愛知県医学検査学会を終えて … (2)
- ◆愛臨技平成30年度定時総会開催報告 … (4)
- ◆地区だより … (5)
- ◆平成30年度日臨技中部圏支部講習会  
「輸血伝達講習会」開催案内 … (6)
- ◆2018春日井市健康救急フェスティバル … (7)
- ◆平成30年度日本臨床衛生検査技師会  
中部圏支部第34回臨床血液部門研修会 … (7)
- ◆講演会・研究会 … (7)
- ◆第58回日本臨床化学会年次学術集会  
開催のお知らせ … (9)
- ◆平成30・31年度  
公益社団法人愛知県臨床検査技師会役員 … (10)

## 多職種連携のための 臨床検査技師能力開発講習会について

学術部担当理事 鈴木 博子

国民の医療に対するニーズの多様化、複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へと、より患者さんの身近での検査業務が求められています。また、平成27年度の臨技法の改正により、検体採取等の業務が追加されたことから、業務範囲の拡大を図る必要があります。この事業は、平成26年から3年間の継続事業として実施した「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成事業」の継承事業で、実際の医療現場で多職種との連携が図られ、患者のニーズに応えられる臨床検査技師育成に向けた講習会です。平成30年度より47都道府県で講習会を開催し、3年間で会員の1割（6,000名）、愛知県では3年間で300名を目標として人材を育成する予定です。

臨床検査技師がより患者さんに近い場所で業務を遂行するためには、臨床検査に関する専門的な技術・知識に加え、薬剤師、看護師、臨床工学技士、理学療法士などの他職種業務を理解することから始める必要があります。本事業により他職種の業務等を学び、多職種連携のチーム医療に積極的に参画することで、医療の質の向上に貢献することを目的とします。

愛知県臨床検査技師会では、今年度は10月27日、28日に本講習会を開催する予定で現在準備を進めております。今後、病棟や外来、救急処置室、手術室など臨床検査技師の活躍できる場が広がり、チーム医療に貢献していくことが臨床検査技師の未来につながると思います。詳細は、9月号らぼニュースで掲載しますが、薬剤師、看護師、臨床工学技士、理学療法士の方の講義と実践に役立つ実技を盛り込んだ充実したカリキュラムとなっていますので、是非参加していただき患者さんの期待に応えられるような臨床検査技師をめざしましょう。

# 第18回 愛知県医学検査学会を終えて

実行委員 大橋 功男、阿知波雅人、加藤 浩、若林 弥生、大野 則仁、藤田 智洋、菊地 良介、  
服部 光、笹木 優賢、浅井 弥生、齋藤 知央、柘植 和子、近藤 正伸、矢田 啓二、  
橋本 克訓、祖父江沙矢加

平成30年7月1日に尾張北地区が主担当として、第18回愛知県医学検査学会を春日井市のホテルプラザ勝川において開催いたしました。

将来の医療を担う我々臨床検査技師のステップアップになるような学会にしたいという“想い”を込め、学会テーマを「変わるもの 変わらないもの～臨床検査の今昔」としてシンポジウム・公開講演を行いました。

また今回は若手技師を対象に1日ご満足して過ごしていただけるよう「尾張北プレゼンツ これから始めるあなたへ」と題して新たに挑戦させていただきました。

今回から定時総会後に開催するため、日程が前回より約1か月遅れの7月開催となり暑さの影響を心配していました。しかし、蓋を開けてみると会員・賛助会員の皆さまの多大なご協力のおかげで過去最大の参加者843名と大盛況のうちに無事終了することが出来ました。

## <一般演題>

54もの一般演題をいただき3会場において日頃の業務改善や研究成果の発表が行われ、活発な質疑応答がなされました。若手技師の皆さんがこの学会を機に大きくステップし、大輪の花を咲かせていただけると感じずにはいられない発表の数々でした。

## <シンポジウム>

学会テーマの「変わるもの 変わらないもの～臨床検査の今昔」と題して3人のシンポジストから職能団体としての活動、学術活動、国際化対応について熱い講演がありました。

## <ランチョンセミナー>

データ解析による臨床検査支援の可能性と未来についてなど、4会場でどれも素晴らしいご講演いただきました。

## <公開講演>

春日井市民病院院長 渡邊有三先生から、臨床検査の今昔 - 人類の歴史から振り返る臨床検査の発展と今後の展開 - と題して、ヒポクラテスの時代から現在までの尿検査の歴史について切手などを交えてのご講演を頂きました。尿検査の今昔から将来について大変興味深いお話が聞けました。





## ＜尾張北プレゼンツ＞

愛知県医学検査学会の趣旨として、若手技師の研鑽・交流の場としての役割があります。そこで今回新たに“尾張北プレゼンツ これから始めるあなた”に向けたシリーズ企画5つをご用意させていただきました。皆さま！国際学会参加篇・多職種連携篇・微生物検査篇・画像病理検査篇・超音波検査篇の5つの企画はいかがでしたでしょうか？

多職種連携篇では、発表後も「ぜひうちの病院でも行いたい！」とのありがたいお言葉をたくさん頂くことができ企画冥利につきました。このような取り組みを今後も継続して頂きたいと思います。会員の皆さまの多数のご参加本当にありがとうございました

## ＜機器展示＞

14社に参加していただきました。

## ＜養成校企画＞

尾張北地区に属する名古屋大学と中部大学のブースを設置し、参加した中高生や保護者に大学のパンフレットを配布するとともに両校の教員、在校生、卒業生から大学の紹介や入試の情報、学生生活の様子などを話す機会を持ちました。また、臨床検査を紹介するパネルを展示して中高生に臨床検査技師の仕事をわかりやすく説明し好評を得ました。

## ＜懇親会＞

学会終了後は、愛臨技主催の祝賀会・懇親会が開かれ193名の会員及び賛助会員さらに講師の方々と「三絃会」による三味線の演奏も加わり楽しいひと時を過ごすことができました。

最後になりましたが、本学会開催にあたり広告、展示などにご協賛いただきました賛助会員の皆様、そして学会企画運営に携わっていただいた実行委員、実務委員の皆様に心より感謝御礼申し上げます。



# 第18回愛知県医学検査学会に参加して

名古屋大学医学部附属病院 医療技術部臨床検査部門 近藤 香

平成30年7月2日(日)の第18回愛知県検査学会にて演題発表をさせていただきました。今回、発表を行うにあたりデータのまとめ方、スライドの見せ方など自身の未熟さを痛感する場面が多くありました。必要なデータは何か、そのデータは何を示すのか、一つずつ考えてまとめ上げていく事は、容易ではないと感じました。直前まで検討を重ね、学会発表に挑んだ事で一つの達成感を得ることが出来たと思います。学会への参加も発表を終えた後では見る目が変わり、質問の答え方、スライドの見せ方など

に注目するようになりました。先輩方の発表、質疑応答に感動するばかりです。

私も先輩方のように発表できるよう努力していきたいです。

また、自身の検討がこれからの臨床検査において役立っていくと信じ、これからも研究を重ねていきたいと思います。

最後に、このような発表の機会を与えてくださった先輩や上司の方々、第18回愛知県医学検査学会実務委員の皆様は厚く御礼申し上げます。

## 公益社団法人愛知県臨床検査技師会 平成30年度定時総会開催報告

庶務部長 夏日久美子

去る平成30年6月17日(日)午前10時より、TKP名駅桜通口カンファレンスセンター ホール4Dにおきまして、公益社団法人愛知県臨床検査技師会平成30年度定時総会を開催いたしました。

はじめに相山会長より、平成29年度事業についてご審議をいただくこと、愛知県臨床検査技師会が職能団体として社会に貢献する役割を担っていること、検体採取業務や検査説明、病棟業務や認知症検査等への取り組みについて学会等において情報発信を行ったこと、などについての挨拶がありました。

次いで議長に加藤 俊樹氏(公立西知多総合病院)が選出され、総会運営規程に基づき書記、資格審査委員兼議事運営委員、議事録署名人が選出されました。資格審査委員長から正会員数3,279名(過半数1,640名)のところ出席者数212名、委任状出席2,301名の合計2,513名の出席があり、総会が成立していることが宣言され議案審議へと進みました。審議事項として、第1号議案「平成29年度事業報告」、第2号議案「平成29年度決算報告」、第3号議案「平成29年度監査報告」、第4号議案「平成30・31年度役員選任について」の各議案はともに賛成多数で承認されました。報告事項として、「平成30年度事業計画」、「平成30年度収支予算」についての報告が行われました。また、会員の皆様から、技師会活動についてのご意見やご要望が挙げられ、担当役員より回答がありました。

総会に引き続き、愛知県健康福祉部保健医療局長の松本 一年氏(代読：健康福祉部保健医療局生活衛生課主幹 佐藤 克彦氏)を来賓としてお迎えしてご挨拶をいただいた後、功労者、永年職務精励者の表彰式が執り行われました。功労者表彰は7名、永年職務精励者表彰は58名が受賞されました。おめでとうございます。

会員の皆様には多数お集まりいただき、大変ありがとうございました。



私の勤務する日本赤十字社東海北陸ブロック血液センターは瀬戸市に位置し、愛知県赤十字血液センターに隣接して建っています。周辺施設には、愛知県陶磁美術館や尾張東地方卸売市場、愛・地球博記念公園、愛知県立大学などがあります。

また、少し足を延ばせば、長久手市に近いこともあり、長久手イオンモールやIKEAなどの大型商業施設もあります。このように最近になって急速に周辺地域が発展したこともあり、周辺の道路は大変混み合って通勤に苦労しています。

東海北陸ブロック血液センターの業務は輸血用血液製剤の製造を主としており、その製造された血液製剤を東海4県北陸3県の愛知、岐阜、三重、静岡、石川、福井、富山の各県の地域センターにそれぞれに振り分けて、需給調整をしている施設です。そして、私の所属する検査課は血液製剤における品質管理の一翼を担っています。

現在、私は愛知県赤十字血液センターと東海北陸ブロック血液センターの事務職と技術職から結成さ

れた野球部に所属しており、4月から10月の毎週水曜日に長久手市のグラウンドで試合や練習などの活動をしています。

今回の地区だより発信である尾張東地区において試合をしたことのある医療機関は、愛知県立がんセンター、公立陶生病院、愛知医科大学附属病院などがあり、その他の地域で対戦したことのある医療機関は、豊田厚生病院、名古屋第二赤十字病院などがあります。

また、医療機関ではない施設としては、日進市役所やアオキスーパー、草野球チームなどがあります。

ここ最近は、野球経験者の職員がたくさん入部したこともあり、近年で一番強いチームであるように思います。毎週、試合をしたいと思っておりますので、4月から10月の間で、試合しても良いと思われた方は事務局（メールアドレス：redcross-baseball@excite.co.jp）まで、ぜひご連絡ください。お待ちしております。



筆者



石川県遠征①



石川県遠征②

---

# 平成30年度 日臨技中部圏支部講習会

## 「輸血伝達講習会」開催案内

---

主 催：(一社) 日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部  
実務担当技師会：公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
輸血検査研究班 班長 片井 明子

【テーマ】 「認定輸血検査技師レベルを目指す輸血検査技術の習得」

【日 時】 平成30年10月 6 日(土) 13：00～17：00  
7 日(日) 8：30～16：00

【場 所】 名古屋市立大学病院医学部  
10月 6 日(土)：医学部研究棟11階 講義室A  
10月 7 日(日)：基礎実習棟 4 階 微生物学実習室

【定 員】 52名

【受講料】 会員：7,000円 非会員：15,000円 (2 日目の昼食代1,000円別途必須)

【プログラム】

プログラム詳細は愛知県臨床検査技師会 輸血検査研究班ホームページをご確認ください。

＜1 日目＞10月 6 日(土)

12：00 受付  
13：00 開講式／オリエンテーション  
13：15～16：45 講演 1～講演 5 (途中休憩あり)  
16：45 実技説明

＜2 日目＞10月 7 日(日)

8：30 受付  
9：00～15：30 実技講習および解説 (昼食、休憩あり)  
16：00 閉講式

【申し込み方法】

日臨技HPから申し込んでください。

※受領確認の返信メールの後、後日講習会の詳細を送付します。

※1 週間以内に受領確認の返信メールが来ない方は、下記連絡先に問い合わせてください。

※非会員および日臨技HPから申し込みできない場合および不明な点は、下記連絡先に問い合わせてください。

【申し込み期間】 平成30年 8 月 1 日(水)～8 月31日(金)

【交通・宿泊】 各自で手配してください。

【生涯教育研修課程】 専門教科 30点

【共 催】 一般社団法人日本輸血・細胞治療学会

【連絡先】 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1－1 愛知医科大学病院 輸血部

片井 明子 E-mail：akik@aichi-med-u.ac.jp TEL 0561-61-3125 FAX 0561-61-3125

## 2018春日井市健康救急フェスティバル

愛知県臨床検査技師会は、春日井市において開催されます2018健康救急フェスティバルに今年も参加することを決定いたしました。本フェスティバルは毎年20以上の団体が参加し、盛大に行われる催しです。みなさまも是非足をお運びください。

### 記

日 時：平成30年9月2日(日)  
10時30分～14時30分  
会 場：春日井市総合体育館  
参加内容：子供向け体験ブース「採血体験」(予定)  
以上

## 平成30年度日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部第34回臨床血液部門研修会

日 時：平成30年12月8日(土) 12:45～  
平成30年12月9日(日) 12:55  
場 所：富山県民共生センター  
「サンフォルテ」3階研修室  
富山市湊入船町6-7  
会場まで  
富山駅北口より徒歩 約10分  
富山きときと空港より車で 約30分  
富山ICより車で 約30分  
テ ー マ：Step upしよう!  
～血液担当技師として一歩前へ～

定 員：130名  
参 加 費：9,000円(2日間参加)  
募集期間：8月1日(水)～9月30日(日)  
先着順受付、定員になり次第締め切り。  
申 込 先：日本臨床検査技師会HP会員専用ページ  
「事前申し込み」よりお申し込みください。

2018年7月10日現在 正会員数 3,349名

## 講 演 会

### 一般検査研究班

専門教科：20点  
日 時：平成30年9月8日(土) 15:00～17:00  
場 所：名古屋第二赤十字病院 研修ホール  
テ ー マ：「小児腎臓疾患を学ぼう！  
病態と検査の見方!!」  
1) 検査結果からひも解く小児腎臓疾患  
あいち小児保健医療総合センター  
腎臓科 田中 一樹  
2) 症例提示小児疾患2症例  
あいち小児保健医療総合センター  
中央検査部臨床検査室臨床検査科 濱嶋 浩  
司 会：藤田保健衛生大学 医療科学部  
星 雅人  
社会医療法人宏潤会 大同病院

内 容：尿検査は無侵襲で患者負担が少ないことからスクリーニング検査として有用であり、また採血の困難な患者、特に小児においては比較的用いられやすい検査です。今回は、小児の腎疾患に焦点を絞り小児腎臓疾患の専門である先生や小児疾患を日ごろから検査業務で携わっている技師の方をお招きしご講演いただきます。講演を聞いて小児腎臓内科医がどんな疾患をみて治療しているかを知ってもらい、小児の検査結果から医師に異常値や病態を提言できるような知識を学んでいただきたいと思います。

## 講 演 会

### 生理検査研究班

専門教科：20点  
日 時：平成30年10月20日(土) 14:00～17:10  
場 所：名古屋市立大学医学部研究棟11階  
講義室A  
テ ー マ：認定心電検査技師として基礎を学びなおそう  
講 師：  
1. 認定心電検査技師試験合格を目指して  
～昨年の受験体験と、試験への取り組み～  
刈谷豊田総合病院 宮地 里美  
2. 診断と薬



碧南市民病院 循環器内科

牧野 太郎

### 3. 心電計の基礎知識

日本光電工業 (株)

根本 剛

### 4. 今どきの認定試験ってどんな感じ? 筆記実技対策

JA愛知厚生連海南病院

樋口 昌哉

碧南市民病院

山田 裕香

司 会: 名古屋第一赤十字病院

倉田 貴規

内 容: 今回の講演会は、心電図の基礎知識や認定試験の傾向をテーマにしました。試験に実技が導入されることもあり、認定技師だけでなく、これから受験する方も一緒に学べる機会にしたいと思います。是非ご参加ください。

定 員: 120名 (事前登録制)

愛臨技ホームページより必要事項を入力  
のうえ、お申し込みください。携帯メー  
ルからの登録はできません。

申 込 み: 平成30年9月3日(月) 13時より

平成30年9月24日(月) 17時まで

定員になり次第締め切ります。資格更新  
を希望しない方も事前登録が必要です。

問合せ先: JA愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝  
sbyas1011@gmail.com

注意事項: 申し込みを受付後、案内メールを送信し  
ます。1週間を過ぎても届かない場合は、  
上記メールまで問い合わせください。

本研修会は日臨技認定心電検査技師の資  
格更新研修会です。資格更新以外の方も  
受講できます。認定心電検査技師制度更  
新10単位が取得できますが、遅刻や途中  
退室は単位を付与できませんのでご注意  
ください。

## 研 究 会

### 微生物検査研究班

専門教科: 20点

日 時: 平成30年9月1日(土) 15:30 ~ 18:00

場 所: リップルスクエア

アーバンネット名古屋ビル20F

久屋大通駅5A出口より徒歩1分

テ ー マ: 知っておきたい! 薬剤耐性菌の基礎

～グラム陽性球菌を中心に～

講 演 1: *Staphylococcus aureus*の薬剤耐性

豊橋市民病院

山本 優

講 演 2: *Enterococcus* spp.の薬剤耐性

名古屋大学医学部附属病院 長田ゆかり

講 演 3: *Streptococcus pneumoniae*および

*Haemophilus influenzae*の薬剤耐性

JA愛知厚生連足助病院 古井 清

講 演 4: 薬剤耐性菌の最近の話題

愛知医科大学病院

坂梨 大輔

司 会: 名古屋第二赤十字病院

原 祐樹

内 容: グラム陽性球菌の薬剤耐性菌を中心に菌  
種ごとの耐性機序や検出するための予備  
知識と検出方法について解説します。ま  
た、講演4では、今回取り上げる耐性菌  
についての最新の知見など、さらに踏み  
込んだ知識を皆さんと共有したいと思います。

初級者からベテランの方まで、多数のご  
参加をお待ちしております。

## 研 究 会

### 遺伝子染色体検査研究班

専門教科: 20点

日 時: 平成30年9月8日(土) 15:00 ~ 17:00

場 所: 愛知県がんセンター中央病院 3階

総合診断室

テ ー マ: 遺伝子検査におけるFFPE検体の品質保証

講 師:

1. NGS (次世代シーケンサー) による遺伝子検査  
の実際

イルミナ株式会社

Senior Clinical Specialist

板橋 眞希

2. NGSにおける検体のQuality Controlについて

愛知県がんセンター中央病院

個別化医療センター医長

羽根田正隆

司 会: JA愛知厚生連 安城更生病院

杉浦 記弘

内 容: 悪性腫瘍の治療において遺伝子検査は必  
須の検査となっていますが、今後期待さ  
れている技術の一つに次世代シーケン  
サー (NGS) による遺伝子解析があります。  
今回、その有用性を高める重要なポイン  
トとなる検体の品質に注目した研究会を  
企画しました。興味のある方の参加をお  
待ちしております。



# 第58回日本臨床化学会年次学術集会 開催のお知らせ

第58回日本臨床化学会年次学術集会を下記要領により開催いたします。臨床検査技師のみならず、みなさまのご参加をお待ち申し上げます。

## 開催概要

1. 集会長：石井 潤一（藤田保健衛生大学医学部臨床検査科 教授）
2. 会 期：平成30年8月24日（金）～26日（日）
3. 会 場：名古屋国際会議場 2号館、3号館、4号館
4. テーマ：「臨床化学が奏でるハーモニー ～基礎・臨床・開発の融和～」
5. 企画内容

### ① 特別講演2題

「網羅的手法による次世代型着床前診断の現状と問題点」

藤田保健衛生大学総合医科学研究所

倉橋 浩樹

「ナノバイオデバイスとAIが拓くSociety 5.0と健康長寿社会」

名古屋大学大学院工学研究科

馬場 嘉信

### ② 共催特別講演（共催：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会）

「臨床検査室の精度保証 ～法改正に伴い求められること～」

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

宮島 喜文

### ③ 教育講演5題

「生理活性脂質の臨床化学」

東京大学大学院医学系研究科

矢富 裕

「がん悪液質の病態と栄養管理」

藤田保健衛生大学医学部

東口 高志

「薬剤耐性菌－最新の話と臨床検査－」

藤田保健衛生大学医学部

土井 洋平

「腎臓病におけるバイオマーカー」

金沢大学大学院

和田 隆志

「血栓・止血のバイオマーカー」

三重大学大学院医学系研究科

和田 英夫

### ④ シンポジウム15題

「ゲノム医療の幕開け」

「質量分析の活用事例とピットフォール」

「非臨床領域の品質保証」

「精神神経疾患のバイオマーカー検索」

「臨床化学の未病対策への挑戦」

「薬学研究が支える臨床化学」

「10年後の臨床化学を考える」

「臨床化学の食への挑戦」

「在宅臨床検査学の最前線」

「血清蛋白質検査の矛盾と課題」

学生シンポジウム、若手育成シンポジウム、企業シンポジウム、YIAシンポジウム

支部共催シンポジウム

他、一般演題180題、機器・試薬セミナー、プロジェクト報告、ランチョンセミナーなど

### 6. 参加費：一般参加 10,000円

### 7. 事務局：藤田保健衛生大学病院 臨床検査部

TEL：0562-93-2310

E-mail：jscc58@fujita-hu.ac.jp

URL：www2.convention.co.jp/jscc58/

平成30・31年度  
公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
役員



会長 中根生 弥



副会長(総務部門) 中井美千代



副会長(学術部門) 岡田 元



副会長(渉外部門) 藤田 孝



理事(庶務部長) 夏目久美子



理事(会計部長) 石神弘子



理事(学術部長) 内田一 豊



理事(精度管理事業部長) 菊地良介



理事(組織部長) 刑部恵介



理事(広報部長) 武山純也



理事(総務部) 柴田典子



理事(学術部) 鈴木博子



理事(精度管理事業部標準化) 佐野俊一



理事(組織部) 和出弘章



理事(組織部尾張西) 木下健次郎



理事(学術部尾張北) 神野洋彰



理事(組織部尾張東) 今井正人



理事(庶務部尾張南) 水野義樹



理事(組織部知多) 村瀬 斉



理事(組織部西三河) 中村広基



理事(組織部東三河) 渡辺基裕



監事 山崎正夫



監事 梶山広美